

# 畠山崇の写真 1

## — 文字の旅 —



Photos by Takashi Hatakeyama I  
Journey to Character

2024年1月6日[土]-2月9日[金]

Saturday, 6th January, 2024 - Friday, 9th February

開館時間：10:00 - 17:00 (入館は16:30まで)

休館日：日曜・祝日、1月27日(土)

入館料：無料

京都工芸繊維大学美術工芸資料館

Museum and Archives, Kyoto Institute of Technology



# 畠山崇の写真Ⅰ

## — 文字の旅 —

Photos by Takashi Hatakeyama I  
Journey to Character

京都を拠点に写真家として活動した畠山崇（1944-2022）の仕事振り返る展覧会「畠山崇の写真Ⅰ—文字の旅—」を開催します。畠山さんは半世紀以上にわたり、京都を中心とした美術工芸の世界の写真を撮り続けてきました。写真の良し悪しによって美術品の印象は大きく左右されます。私たちが抱く美術品のイメージは写真の影響も大きいと言えるでしょう。畠山さんは作品写真の撮影者として多くの作家や美術関係者から仕事を託されてきました。なかでも陶芸やファイバーアートの作品写真は数多く、現代関西工芸界の貴重な記録ともなっています。

京都工芸繊維大学美術工芸資料館は、このたび畠山崇さんご自身が所持しておられた写真（ポジフィルム、スライド、デジタルデータ等）と関連資料の遺贈を受けました。館ではこれから「畠山崇写真アーカイブ」として写真の調査研究ならびに適切な運用のための管理を行なっていきます。

「畠山崇写真アーカイブ」のお披露目第一弾となる本展では、畠山さんが訪れたアメリカ、韓国、中国、南米諸国、メキシコで撮影した写真を紹介します。作品写真や展示記録写真だけでなく、雑誌や広報物などのヴィジュアルイメージの制作にも写真家として多く関わってきました。これらの旅のきっかけは、モリサワが発行するカレンダーのヴィジュアルイメージ撮影でした。文字を扱う企業であるモリサワのために、世界各地の特徴的な文字を撮影することを目的としたものです。カレンダーに使用されたカットはそれぞれ十数点に過ぎませんが、それ以外にも写真家畠山崇の眼を感じさせる数多くのカットが残されています。今回はカレンダーに掲載されなかったカットも合わせてご覧いただくことで、旅先での畠山さんの眼差しに触れてみたいと思います。

なお、展示写真は 35mm スライドフィルムのデジタルスキャンによるもので、カレンダー掲載写真とはトリミングや色味が異なることがあります。

### 同時開催

月次祭礼園屏風・浜松園屏風復元プロジェクト  
「よみがえる中世屏風—京洛の祝祭、白砂青松の海—」  
2024年1月6日(土)～2月9日(金)

### お問い合わせ

〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町  
TEL 075-724-7924 <https://www.museum.kit.ac.jp/>

### 交通

- ・市営地下鉄烏丸線「松ヶ崎駅」下車1番出口から徒歩約8分
- ・京都バス「高野泉町」下車徒歩約10分
- ・叡山電車「修学院駅」下車徒歩約15分

By Subways: Take Karasuma Line Subway to “Matsugasaki” Station, exit from Exit 1 and walk after for 8 minutes.

By Kyoto Bus: Get off at “Takano-Izumicho” stop. Cross the Takano river and walk west for 10 minutes.

By Eizan Railway: Get off at “Shugakuin” Station and walk west for 15 minutes. Museum and Archives is located in front of the main entrance of KIT west campus.



1 「アメリカ 1983年」



2 「韓国 1986年」



3 「中国 1992年」



4 「ホンジュラス 1996年」

表面：「メキシコ 1997年」

